

教育課程の構成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の構成・実施の方針

様々な課題に対峙していく卓越した実践能力を有するトップリーダー、国内外の様々な課題に応用できる看護学研究を先導できる研究・教育者を育成するため、以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

2. カリキュラム編成

- (1) 工学や社会学，教育学など他の学問領域との融合を図り，データや ICT・ロボット・AI 等の利活用法を習得することにより，研究対象を多角的・科学的に分析する方法を学修する。
- (2) あらゆる年代や地域で生じる様々な健康課題を，“広域ヘルスケア”及び“生涯発達ヘルスケア”双方の視点から解決する方法を探究する。
- (3) 看護学と他の学問領域との融合により，次世代ヘルスケアを創生する看護学研究を遂行し，その成果を社会に還元することを学修する。

3. 学修評価

研究・学修成果の評価は、「福井大学における多面的かつ厳格な成績評価のガイドライン」に基づき評価を行う。

共通科目，専門科目，特別研究科目の評価にあたっては，以下の各観点を重視する。

- (1) グローカルな視点に立ち，研究対象を多角的・科学的に分析する方法を習得しているか。
- (2) 様々な健康課題を，“広域ヘルスケア”及び“生涯発達ヘルスケア”双方の視点から解決する方法を習得しているか。
- (3) 看護学と他の学問領域との融合により，次世代ヘルスケアを創生する看護学研究を自律して実施し，その成果を社会に還元することを意図しているか。

博士後期課程で実施する教育をより良いものとしていくため，随時，研究成果について多角的・総合的評価と検証を行い，継続的な改善に努める。

4. 学位論文審査

学位論文の審査は学位審査基準にしたがい，論文内容の信頼性及び発展性等の観点から厳格に審査する。